

Unitech

HT580 ユーザガイド



ユニテック・ジャパン株式会社

第3版
2008.6.6

ご注意

1. Li-Ion バッテリパック

本ユニットはリチウムイオン(Li-Ion)バッテリーパックを使用しています。工場出荷後しばらく使われずに保管されていたために、HT580 のバッテリーは、開封直後は完全に充電されていないかもしれません。本ターミナルを初めて使用する場合、まず完全に充電されるようお願いいたします。

2. USB ドライバのインストール

HT580 の USB ドライバはパッケージ中の CD にあります。USB を使用するには、まずドライバをインストールして下さい。

目 次

ご注意	2
概要	4
はじめに	4
サポート	4
特徴	5
仕様	5
モデル	5
HT580	5
製品の外観	6
バッテリーの保存と安全な使用について	7
通信クレードル	8
HT580 とホスト PC との接続	9
インターフェースポート	9
ピン配列	9
キーパッド	10
バーコードのスキャン範囲	10
HT580 の操作	11
設定	11
DATE & TIME(日付と時刻)	11
DEVICE(デバイス)	11
MODEM INIT(モデム初期化)	12
SUPERVISOR(管理者)	12
FORMCACHING(フォームキャッシング)	13
EasyJob の実行	13

概要

はじめに

HT580 をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。このポータブルデータターミナルは小型で、軽量、そしてユーザフレンドリーなハンドヘルドターミナルです。

HT580 を使用して皆様独自の用途のために設計されたアプリケーションプログラムの開発や実行を行うことができます。

重量はわずか 150 グラムと軽量の HT580 は小売店などで長時間使うのにたいへん適しています。軽量であるにもかかわらず、HT580 は頑丈で、1.2 メートルの高さからコンクリート床への落下に耐えます。

これらにより、皆様のご要求を満足するものであると期待しております。HT580 の標準パッケージは、HT580 ターミナル本体、通信クレードル、電源アダプタ、USB と RS232 の Y ケーブル、ホルスター、そしてストラップを含んでいます。さらに、RS232 とモデムの二種類の通信/充電クレードルを用意しています。

サポート

ユニテック社は皆様のご技術的なご質問に答えられる技術サポートスタッフを用意しています。また、全世界レベルのサービスネットワークを持っております。機器の故障や困ったことがありましたら以下の Web サイトからお問い合わせいただくのが最も便利です。

UTJ (Japan) <http://www.unitech-japan.co.jp>

特徴

HT580 は以下の特徴を持っています。

- ☑ 独自のオペレーティングシステム
- ☑ メモリ：2MB
- ☑ ディスプレイ：128 x 64 ピクセル
- ☑ キーパッド：18 キー・キーパッド
- ☑ バーコードスキャナ：CCDまたはレーザ
- ☑ 通信：Bluetooth / RS232 / USB

仕様

モデル	HT580
表示	128 x 64 ピクセル、16 x 8 英数文字、12 x 4 英数文字、8 x 4 日本語
ディスプレイバックライト	あり
キーパッド	18 英数字、スキャナトリガキーを含む
CPU	ST UP3D3354DV
オペレーティングシステム	自社
メモリ	2MB Flash ROM
アプリケーション開発	EasyJob アプリケーションジェネレータ
通信	RS232 / USB1.1 / Bluetooth / モデム
バッテリー寿命	約 8 時間
バーコードシンボル	UPC/EAN/JAN , Codabar, Code 32, Code 39, Code 93, Code 128, Interleaved 2 of 5, China Postal Code, MSI
ブザー	あり, 75 dB 以上
LED	読み取り 緑表示
バッテリー	3.7V 600mAh Li-ion バッテリー
防水・防塵	IP42
動作温度範囲	0°~ 50°C
保存温度範囲	-20°~ 70°C
湿度	20% から 85% 結露しないこと
ESD	4 KV コンタクト 8 KV 気中
寸法	123mm x 55mm x 25mm
重量	150g
耐落下性能	1.2M 高からコンクリート床

製品の外観

本セクションはHT580とクレードルの外観について説明しています。各機能の詳細な説明は以降のセクションをご覧ください。



図1:HT580 正面



図 2: HT580 背面



図 3 HT580 上部



図 4: HT580 底部



図 5: HT580 バッテリー装着部



図 6: HT580 充電/通信クレードル,
RS232 とモデム



図 7: モデムクレードル 背面



図 8: RS232 クレードル 背面



図 9: HT580 通信/充電ケーブル(パーツ番号 70028037*000)



図 10: HT580 Li-Ion バッテリー(パーツ番号 8001110001)

バッテリーの保存と安全な使用について


バッテリーは室温で保存して下さい。破裂や損傷を与える可能性のある場所に置くことは避けて下さい。リチウムイオンバッテリーは内部抵抗により数ヶ月使用しないと放電することがあります。この場合、使用する前に充電されることをお勧めいたします。

メインバッテリーの取り外し

メインバッテリーを取り外すには、本体のバッテリーカバーのボタンを押しながら下に引き下ろします。できるだけバッテリーを外さないことをお勧めいたします。

充電

HT580 を使い始める時、最初に使用する前に HT580 のメインバッテリーを完全に充電して下さい。HT580 は 3.7V 600m.A.h リチウムイオンバッテリーを装着しています。完全充電したメインバッテリーは約 8 時間連続使用すると空になります。長時間使用した後は定期的にバッテリーを充電されることをお勧めいたします。

 スクリーンに現れるこのアイコンは現在のバッテリー充電状態を示しています。

メインバッテリーを充電するには二つの方法があります。

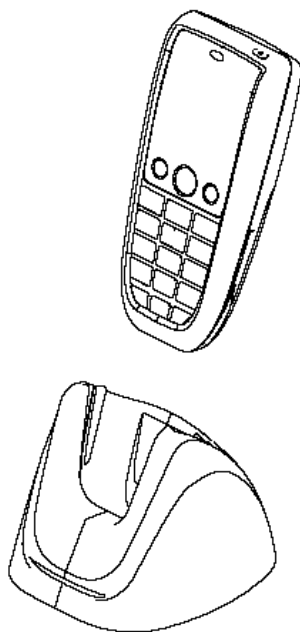
1. HT580 本体をクレードルに載せ、電源アダプタをクレードルの背後のジャックと AC コンセントに接続します。もしくは、
2. 付属の USB ケーブルを使用し、PC の USB ポートに接続します。

通信クレードル

HT580 のバッテリーは充電/通信クレードル、パーツ番号 5000-601557 (RS232) / 5000-601558 (モデム) に HT580 を置くことによって充電することができます。

クレードルへの置き方

1. 正しい位置



右の図は HT580 をクレードルに置いて充電もしくは通信している時の正しい挿入位置を示しています。

本体を挿入するときに無理な力を掛けるとクレードル底部のコネクタが破損する可能性があることにご注意下さい。

正面図

2. 間違った位置



右の図は HT580 をクレードルに置いて充電もしくは通信している時の間違った挿入位置を示しています。

HT580 を間違った方向でクレードルに挿入しないで下さい。これにより動作しないか、損傷を与える恐れがあります。

背面図

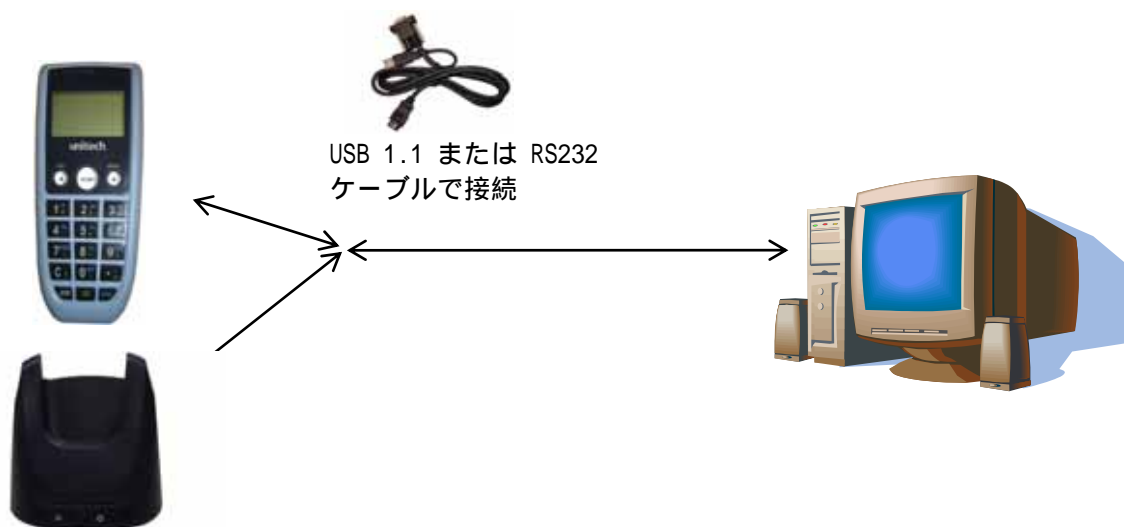
クレードルの LED 表示



この LED 表示 (赤) はクレードルの電源状態を示しています。LED が点灯している時、クレードルが充電していることを表します。HT580 が完全に充電されたかどうかを判断するには HT580 の LCD をチェックする必要があります。

この LED 表示 (緑) はクレードルの通信状況を示しています。LED が点灯している時、データが伝送されていることを表します。

HT580 とホスト PC との接続



RS232 / モデム クレードルによる通信

インターフェースポート

HT580 は本体の底部にある RS232 通信ポートで通信を行います。HT580 を PC の RS232 ポートと通信ケーブルで直接、あるいはクレードルを使用して接続することができます。

ピン配列


ピン	名称	ピン	名称
1	USB-POWER	7	DSR
2	GND	8	GND
3	DC-IN	9	DTR
4	USB DP	10	TXD
5	CTS	11	RXD
6	RTS	12	USB DP

キーパッド

HT580 のキーパッドは 18 個のキーと電源キーがあり、キーパッドは三つのモード、**数字モード**、**コマンドモード**、そして **英字モード** があります。

キーパッドは標準では数字モード、緑の CMD キーを押したときはコマンドモード、青の ALPHA キーを押したときは英字モードになります。

キーパッドの説明

[] 電源キーを押すと電源が入ります。

電源キーは本体の左上角にあります。

[**ESC**] ESC は前のメニューに戻ります。

[**MENU**] 表示された項目をスクロールする必要がある場合に [**MENU**] を押します。[**FUNC**] キーとしても働きます。

[**SCAN**] バーコードスキャンを行う時に [**SCAN**] を押します。

設定モードの時に [**ENTER**] として働きます。

[**C**] 文字を削除する時に [**C**] を押します。

[**ENTER**] 変更の保存、あるいは次のページに進むときに [**ENTER**] を押します。

[**ALPHA**] 英字モードに切り替えるときに [**ALPHA**] を押します。

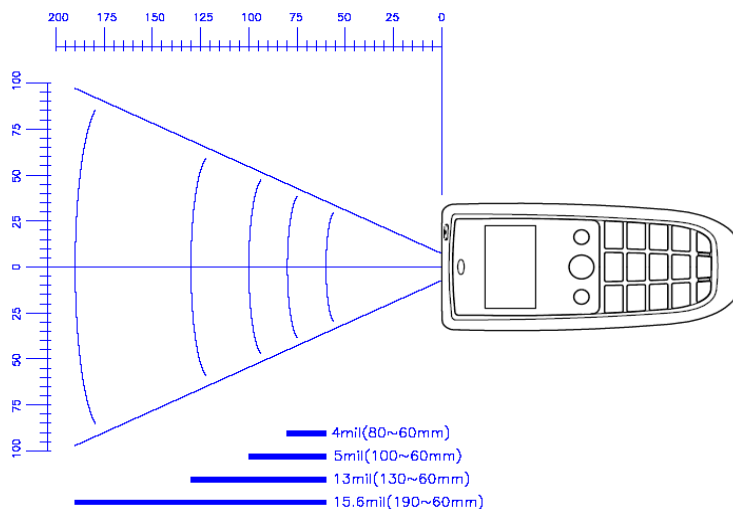
ALPHA キーを押したときに英字 (青で印刷) が有効になります。

[**CMD**] “#”, “\$” 等の区切り文字を入力するときに [**CMD**] を押します。

区切り文字 (緑で印刷) は CMD キーを押すと有効になります。



バーコードのスキャン範囲



HT580 の操作

HT580 の電源を入れた後で、以下のメインメニューが現れます。

```
HT580 V1.61
1. SETTING
2. TERMINAL
```

設定

“SETTING”(設定)メニューに入るには、[1] を押すか [MENU] を押します。以下の4つのオプションがあります。

1. DATE & TIME(日付と時刻)
2. DEVICE(デバイス)
3. MODEM(モデム)
4. SUPERVISOR(管理者)

DATE & TIME(日付と時刻)

日付と時刻を設定するために [1] または [MENU] を押して DATE & TIME のメニューに入ります。

```
YYYY-MM-DD
2000-01-08
HH-MM-SS
05:50:35
```

数字キーを使用して正しい日付と時刻をセットします。終了したら、修正した設定を保存するために [ENTER] を押します。前のメニューに戻るには [ESC] を押します。

DEVICE(デバイス)

デバイス設定を選択すると、以下の設定メニューが現れます。

```
1. BACKLIGHT
2. SCANNER
3. AUTORUN 4. MEM
5. BUZZER 6. KEY
```

<BACKLIGHT>

<BACKLIGHT> モードに入るには [1] または [Scan] キーを押します。そして、デバイス設定モードに戻るには [ESC] を押します。

< BACKLIGHT > の選択: ON 10 SECS / ON 20 SECS / ON 30 SECS / ON 60 SECS / Always / OFF のバックライト点灯時間のいずれかを選択するために [MENU] を押してスクロールダウンします。希望するバックライト点灯時間を選択したら [ENTER] を押して設定を保存します。

メモ: “ON 10 SECS“ の選択は、バックライトが 10 秒間点灯することを意味します。これらの値はバックライト点灯中に何かキーを押すとリセットされ、点灯時間が延びます。

<SCANNER>

<SCANNER> モードに入るために [2] または [Scan] を押します。デバイス設定モードに戻るには [ESC] を押します。

< SCANNER > の選択: ON NORMAL/ON FLASH/OFF のいずれか。希望するものを選び、 [ENTER] を押して設定を保存します。

<AUTORUN>

<AUTORUN> モードに入るために [3] または [Scan] を押します。デバイス設定モードに戻るには [ESC] を押します。

<AUTORUN> 自動的に実行するプログラムを指定します。AUTORUN の標準値は “off” (オフ) に設定されています。3 つのプログラムを選択することができます。これらは <TERMINAL MODE>, <FORMCACHING>, <RESUME>, そして <OFF> です。選択したプログラムを定義したら、HT580 を起動したときにプログラムは自動的に実行されます。メインメニューはプログラム中で実行されます。

<MEM> メモリの全容量と空き容量を表示します。

<BUZZER> ブザー音の長さを指定します。

<KEY> ESC キーと ENTER キーを入れ替えます。

MODEM(モデム)

モデムコマンドを実行するには、モデムクレードルを接続すると自動的に初期化されます。

<MODEM> を実行するには [3] または [Scan] を押します。前のメニューに戻るには [ESC] を押します。

SUPERVISOR(管理者)

“SUPERVISOR” モードに入るときにパスワードの入力が必要です。

パスワードについて知りたい場合は、オペレーションマニュアルをご覧ください。

<SUPERVISOR> モードに入るには [4] または [scan] を押します。前のメニューに戻るには [ESC] を押します。

TERMINAL (ターミナル)



```
<TERMINAL>
1. TERMINAL MODE
2. FORMCACHING
```

<TERMINAL>

TERMINAL MODE を選択するとキーパッドから入力した文字またはバーコードスキャナで読み取った文字がシリアルポートよりそのまま出力されます。

FORMCACHING(フォームキャッシング)

メインメニューから簡単な在庫情報収集プログラムである **FORMCACHING** を選択することができます。

FORMCACHING の標準設定は、フィールド 1 が “item” (項目)、そしてフィールド 2 が “Q'ty” として定義されています。フィールドの標準値を変更するには、“**SUPERVISOR**” の下の “**FORM**” を使用します。

<**FORMCACHING**>をスタートするには、[2] または [Scan] を押します。前のメニューに戻るには [ESC] を押します。

EasyJob の実行

“**EasyJob**” はアプリケーションジェネレータで、**FORMCATCHING** よりも複雑な在庫管理等のアプリケーションを作ることができます。

EasyJob を実行するには、CD に含まれている **EasyJob** を PC にインストールします。作成したプログラムを HT580 にダウンロードして実行します。詳細については操作ガイドをご覧ください。